

農林水産統計調査におけるPDCAサイクル点検・評価チェックリスト

政府統計コード	00500232
基幹・一般の別(選択記入)	一般統計調査
調査の名称	食品流通段階別価格形成調査(青果物調査)
政府内における調査結果の利活用状況 ※該当するものを選択(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 重要な政策の立案・実施・評価の直接の根拠資料として利用
	<input type="checkbox"/> 国が給付する手当や給付金の算定根拠として利用
	<input type="checkbox"/> 月例経済報告に利用
	<input type="checkbox"/> 基幹統計の作成に利用
	<input type="checkbox"/> 基幹統計以外の重要な統計の作成に利用
	<input checked="" type="radio"/> その他(食料・農業・農村基本計画の見直し検討や食料の安定供給の確保に向けた食品流通の効率化・高度化、流通構造改革等を推進するための基礎資料として利用)
特記事項	承認時に「1回限り」の調査として承認

点検・評価項目	点検・評価事項等 (選択記入)	調査計画との整合性		不整合が生じている場合の対応状況		
		整合／不整合 (選択記入)	「整合／不整合」欄が「不整合あり」の場合、 その概要等(選択・自由記入)	対応方法 (選択記入)	対応状況 (選択記入)	左記対応の概要(自由記入)
1 調査の目的	整合		結果の利活用実態 (特記事項)			
2 調査対象の範囲※	整合		調査対象地域 その他 ( ) (特記事項)			
3 報告を求める個人又は法人 その他の団体(報告者)の数等※	整合		母集団情報 全数層・抽出層の設定 その他 ( ) (特記事項)			
4 報告を求める事項及びその 基準となる期日又は期間※	整合		調査票 調査期日・期間 (特記事項)			
5 報告を求めるために用いる 方法※	整合		調査方法 民間委託の範囲 (特記事項)			
6 報告を求める期間※	不整合あり		○ 調査実施期間(始期・終期) 調査の周期 (特記事項) 一部の調査票の配布については、調査計画では平成30年7月上旬としていたが、平成30年7月中旬に配布した。 調査票の回収については、調査計画では平成30年9月上旬までとしていたが、平成30年8月上旬までの提出期限を提示した。	調査計画の変更申請	対応中/対応予定	次回調査における調査票の配布については、6月中旬の業者決定予定を踏まえ、実準備期間を十分に確保する。 また、調査票の回収については、報告者に示す提出期限の後に実施する督促期間を含めず に設定する。
7 集計事項※	整合		未集計 復元推計 (特記事項)			
8 調査結果の公表の方法及び 期日※	不整合あり		○ 公表実施時期 e-statの掲載 その他 ( ) (特記事項) 統計の精度を確認・確保するために時間を要したことから、概要公表及び詳細公表が期日から約2～3か月遅延した。	調査計画の変更申請	対応中/対応予定	次回調査における調査結果の公表については、平成30年度調査の審査に要した期間を踏まえ、統計の精度を確認・確保するための期間を十分確保する。 また、利活用の時期を踏まえ、公表時期を設定する。
9 使用する統計基準	整合		独自基準の採用 その他 ( ) (特記事項)			
10 調査票情報の保存期間及び 保存責任者	整合		保存期間 保存方法 (特記事項)			
11 立入検査 (基幹統計調査のみ)	非該当		立入検査対象事項 (特記事項)			
12 不整合は生じていないものの、 改善を検討(予定)している事項		検討(予定)している事項の有無 (選択記入)	検討(予定)している事項の概要 (自由記入)	対応方法 (選択記入)	対応状況 (選択記入)	左記対応の概要(自由記入)
		あり	調査の利活用状況、報告者負担の軽減、地方業務負担を軽減するための民間委託化の推進を踏まえ、以下を検討。 ① 報告者数の設計の見直し ② 報告者の選定方法の変更 ③ 調査項目の追加及び削除 ④ 調査系統の変更 ⑤ 調査方法の変更	その他	対応中/対応予定	調査計画を以下のとおり見直し、次回調査を実施予定。 ① 報告者数は、民間委託に伴う回収率低下を考慮しつつ、調査精度を維持した標本設計に見直し算出。 ② 青果物生産者段階調査、青果物集出荷段階調査(A)及び青果物小売段階調査は、標本設計の見直しに合わせた選定方法に見直すとともに、青果物仲卸段階調査は、職員の情報収集により整備した名簿を基にした選定方法から、民間事業者の情報収集により整備した名簿に基づく選定方法に見直す。 ③ 青果物集出荷段階調査(A)において、パレットを利用した出荷量割合を追加。また、利活用状況と報告者負担の軽減を踏まえ、調査項目を削除。 ④ 青果物集出荷段階調査(A)、青果物仲卸段階調査及び青果物小売段階調査において、平成30年度調査は地方組織による調査であり、次回調査は民間事業者による調査に変更。 ⑤ 全調査において、政府統計共同利用システムのオンライン調査の利用に変更。また、青果物集出荷段階調査(A)、青果物仲卸段階調査及び青果物小売段階調査において、平成30年度調査は職員による配布・回収であり、次回調査は民間事業者による配布・回収に変更。

(注) 「※」を付している一般統計調査の点検項目については、調査事項の10%未満の変更等、承認を要しない「軽微な変更」の範囲や公表内容との整合性に留意して点検を実施。

Ⅱ 必要な精度の確保・向上の観点	1 調査の実施目的を確保するための精度管理の実施状況	目安としている指標の設定状況			目安としている指標の具体的推移 (自由記入。別紙も可)		
		精度管理の目安としている指標区分 ※該当するものを選択(複数選択可)	目安としている指標の具体的な設定内容・考え方等 (自由記入。別紙も可)	目安としている指標の設定時期 (自由記入)	今回調査 (又は前回調査)	前回調査 (又は前々回調査)	前々回調査 (又は前々前回調査)
		○ 達成精度(実績精度) ..... 回収率・回答率 ..... 回収標本数 ..... カバレッジ ..... その他 ..... ○ 設定なし	・ 青果物生産者段階調査及び青果物小売段階調査は、生産者の販売価格を把握した調査結果がないため、関連性が強い青果物市況情報データを基に目標精度を5.0%に設定。 ・ 青果物集出荷段階調査（Ａ）・（Ｂ）及び青果物仲卸段階調査は、代表的な団体や業者を有意選定することから、目安としている指標は設定していないが、有効回収率の実績は右記のとおり。	平成30年度調査（総務大臣の承認年月日：平成30年6月14日）	平成30年度調査 ・ 青果物生産者段階調査は実績精度4.1%（1経営体当たりの青果物全体の販売金額を指標） ・ 青果物小売段階調査は実績精度7.7%（1業者当たりの青果物全体の仕入金額を指標） ・ 青果物集出荷段階調査（Ａ）は有効回収率93.1% ・ 青果物集出荷段階調査（Ｂ）は有効回収率57.6% ・ 青果物仲卸段階調査は有効回収率90.0%	平成27年度調査  目標精度の設定なし（実績精度なし）	平成26年度調査  目標精度の設定なし（実績精度なし）